3 月定例議会で可決





をお知らせします

確かな復旧・復興ステージを目指し 大地にしっかりと根を張る予算

·般会計 **>>>> 歳入**

その他の依存財源(0.2%) 自動車取得税交付金 1,203万1千円 地方譲与税 配当割交付金 348万2千円 7,844万5千円(0.8%) 地方特例交付金 335万6千円 交通安全対策特別交付金 160万円 地方消費税交付金 利子割芯付金 140万円 2億3,911万6千円(2.4%) 株式等譲渡所得割交付金 135万8千円 町債 繰入金 6億4,061万6千円 4億6,892万1千円 (4.6%) (6.3%)諸収入 町税 1億4,420万8千円 (1.4%) 2億4.252万2千円 (12.3%)使用料及び手数料 1億120万1千円 (1.0%) 国庫支出金 分担金及び負担金 16億6,949万5千円 4,285万9千円 (0.4%) (16.5%) 歳入 その他の自主財源 (0.7%) 101億 寄附金 3,000万6千円 繰越金 2,000万円 3,700万円 **財産収入** 1,760万2千円 地方交付税 県支出金 28億8,222万4千円 25億3,655万8千円 (28.4%) (25.0%)自主財源(20.4%) 依存財源(79.6%)

特別会計 >>>> 予算

	特別会計	予算額		
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	15億6,717万8千円		
	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	1,433 万 1 千円		
	介護保険特別会計	20 億 3,159 万 5 千円		
	後期高齢者医療特別会計	1億8,452万5千円		
	簡易水道事業特別会計	899万7千円		
	奨学資金特別会計	2,332万8千円		
	工業団地造成事業特別会計	1,137万8千円		

▼水道事業会計予算

・ハとテルムロリチ				
	区分		予算額	
	収益的収入	水道事業収益	2億6,954万7千円	
	および支出	水道事業費用	2億5,395万円7千円	
	資本的収入	資本的収入	7,906 万 9 千円	
	および支出	資本的支出	1億3,676万6千円	

※資本的収入・資本的支出は補正予算で予算計上を行います。

·般会計予算 101 億 3,700 万円

▶平成31年度の当初予算総額は、101億3千7 百万円(対前年度費1億6,040万円減、1.6%減) となりました。

予算減額の主な理由としては、福島原子力災 害避難区域等帰還・再生加速事業費▲1億6,271 万8千円、農業基盤整備促進事業費▲3億426 万1千円、施設園芸導入推進事業費▲2億7,087 万円などによるものです。

一方で、仮置場返還工事費8億686万3千円(新 規)やため池放射性物質対策業務委託料4億9,985 万3千円(継続)、モニタリング事業費(継続)、 営農再開支援事業 (継続)、山木屋地区復興拠点 管理費(継続)等に所要額を計上し、さらなる復 旧・復興に向け取り組みを行います。

また、築後38年目を迎え老朽化が進む中央公 民館の耐震工事を実施するにあたり、耐震基本 計画業務委託料 1.727 万 2 千円を計上しておりま す。さらには、町防災行政無線経費や防災ハザー ドマップの作成などの安全面の強化に加え、道の 駅リニューアル事業費や観光振興事業補助金など 町の振興につなげ、活気ある町づくりに取り組み ます。

特別会計と町の財政の深い つながり

▶町民の皆さまの健康と安心をお預かりする国民健 康保険は広域化し、福島県が主体となり決定した統 一運営方針を基に、町は従来どおり一般会計からの 国民健康保険特別会計への資金の繰入及び国保税の 適正賦課徴収を担っています。また、国保特別会計 の歳出の7割を占める保険給付費(医療費)につい ては、県から充当されますが、その財源となる町か ら県へ納める事業費納付金は、国保税収納率の低下 や医療費の増加に大きく左右される仕組みとなって いるます。医療費の増加は国保会計だけでなく資金 を繰り出している一般会計の負担増大にもつながる こととなるため、今後一層積極的に医療費適正化に 努めていく必要があります。

災害復旧事業費

します。

1億1,001万3千円(1.1%)

歳出 性質別グラフ

貸付金 7,000万円 (0.7%) 維持補修費 5,374万5千円 (0.5%) 義務的経費(22.9%) 積立金 2,360万3千円 (0.2%) 投資的経費(29.9%) 予備費 2,000万円 (0.2%) その他の経費 (47.2%) 繰出金 5億3,031万2千円(5.2%) 人件費 扶助費 11億6,204万 6億475万3千円(6.0%) 補助費等 (11.5%) 公債費 13億51万5千円 (12.8%)5億4,809万円(5.4%) 歳出 101億 3,700万円 物件費 27億9,378万6千円 (27.6%)普通建設事業費 29億2,014万1千円 (28.8%)

施するなど、

を行います。また、

グローバルな体験の中から、 ン」の一層のPRに向けた事業を実施 中南米音楽祭 ゼンチン学校」といった事業などを诵 もたちを対象とした「ようこそ!アル 茨城県境町との交流連携事業や、 に親しんでもらえるような事業を実施 してまいります。 また、友好交流都市協定を締結した 町の大きな観光資源である全日 「コスキン・エン・ハポ

子ど

衛生費…環境保全

疾病予防、

健康増進

Ш

などの経費

福祉や子育て支援などの経費。

や観光資源にふれる機会を!子どもたちにグローバル体験

ガポール派遣事業も人数を増やして実 持つための宿泊合宿や北海道研修など *今年度も子どもたちが英語に関心を 語学研修事業を充実させ 中学2年生のシン より英語

1億1,001万3千円(1.1%) 災害復旧費

歳出 目的別グラフ

議会費 1億803万5千円(1.1%)7

総務費 28億6,591万2千円(28.2%)

民生費 17億7,829万4千円(17.5%)

衛生費 4億3,019万6千円(4.3%)

農林水産業費

14億7,993万9千円 (14.6%)

商工費 3億6,770万6千円(3.7%)

土木費 9億5,215万9千円 (9.4%)

消防費 6億7,600万4千円(6.6%)

教育費 8億65万2千円(7.9%)

公債費 5億4,809万円(5.4%)

2,000万円 (0.2%)

歳出 ▼公債費…町の借金などを償還する経費 ▼補助費等…町から他の団体などに対して ▼繰出金…一般会計、特別会計、基金との ▼積立金…将来に備えて積立てる経費。 ・民生費…障がい者、高齢者などに対する ▼議会費…議会運営などの経費。 ・普通建設事業費…道路や公共施設の新増 ·総務費…除染作業、庁舎維持管理費、 税の賦課徴収など役場全般的な行政経費 間で相互に資金運用をするための経費 設に必要とされる経費 行政上の目的で支払う補助金や負担金。

▼予備費…予算編成で予期しなかった支出 ***農林水産業費**…農林業振興や農林業施設 *商工費…商工業や観光振興のための経費 |教育費…学校や幼稚園の維持管理や生涯 ・土木費…道路や河川、 学習の充実、文化・スポーツ振興の経費 会資本整備や維持管理のための経費。 の維持管理、生産基盤整備のための経費 に備えるための科目。 住宅など社

▼繰入金…積立金(基金)の取り崩し金や ▼町債…町の借入金 ▼地方交付税…財政力に応じて国から交付 ▼町税…みなさんに納めていただく税金。 ▼扶助費…児童、高齢者、 ▼物件費…賃金や旅費、交際費、光熱水費 人件費…議員や委員報酬、 *維持補修費…道路や公共施設などを管理 ・県支出金…市町村が行う特定の事業に対 *国庫支出金…市町村が行う特定の事業に どに行う支援のための経費 他の会計から繰り入れたお金。 対して国から交付されるお金 や委託料など消費的性質をもつ経費。 以上にわたるもの。 されるお金 するために必要な経費 して県から交付されるお金。 (借金) 心身障がい者な 職員給与など。 で償還が2年